

中学生の「税」についての作文

日高納税貯蓄組合連合会、御坊納税協会、御坊税務署は、御坊税務管内の中学生を対象に「税についての作文」の募集を行いました。結果、1,593編の応募がありました。

審査の結果、御坊市内から寺井敦基さんが、「御坊税務署 最優秀賞」「和歌山県納税貯蓄組合総連合会会長賞」に選ばれました。

御坊税務署 最優秀賞。

和歌山県納税貯蓄組合総連合会会長賞

日高高等学校附属中学校 3年

寺井 敦基さん



作文紹介 題名 相互扶助の精神

近年の日本では、あらゆる物の値上げが相次ぎ国民の負担はとも大きいものとなっている。毎日、様々なニュースが取り上げられる中、僕の目に止まったのは「補助金」という言葉だった。政府が物

価高の対策として、巨予算を取っているそうだ。電気、ガス料金は、原油等のエネルギー価格の高騰で大幅に値上がりしている。会社に補助金を出し、その分だけ料金を引き下げてもらう事で、家庭での光熱費が安くなる仕組みだ。補助金は国民が納めた税である。税の使われ方を知り、とても有難い気持ちになった。これから日本の賃金が上がれば、消費者の購買力も上がる。日本経済が潤う事は消費者や企業にとって良い事だ。「税収」も上がり、良い循環が見込めると思う。物価高でより厳しい生活を余儀なくされている家庭や深刻な影響が出ている企業もあるそうだが、逸早くより良い社会になって欲しい。

僕は今年の春、引っ越しをした。その際、転居先の街で様々な補助金がされている事を知った。例えば、住宅用LED照明を購入し申請すると補助が受けられる。僕の家でもLED照明を購入したので補助を受けた。さらにこの夏、家庭用のエアコンや冷蔵庫を買い換えた際にも補助が受けられる事を知った。年々猛暑であり地球温暖化や異常気象が起きている。省エネ家電製品は電気使用量の削減や温室効果ガス排出量削減にも繋がる。僕は税によって生活が支援され、環境問題にも良いので一石二鳥だと思った。また、色々な自治体で独自の補助事業がされているのだと知った。どの街でも、その市や

町がより良く発展する為に勧められている。そして僕達が税の恩恵を受ける事ができる。税のおかげで多くの人が助けられているのだと感じた。

来年、僕は中学校を卒業し高校に進学する。和歌山県の公立高校では授業料が必要であると知った。しかし、国の授業料支援で保護者の課税所得が低い場合、申請をし認定を受けると授業料が不要となる事を知った。高校の教科書購入には数万円必要で決して安くはない。小学校や中学校で当たり前のように配布されていた教科書に改めて有難みを感じた。また中学校で一人につき一台のパソコンが使用できる事も有難い。教育に使われる税金は公立学校の義務教育だけでなく高校や大学にも活用されている。僕達が安心して教育を受けられるのも全てが税が賄ってくれているからだと感じた。

このように僕達は税に支えられて生活できている。この財源は国民の税である。一人一人が税金を納める事で国全体を支えている。将来、様々な世代の人が豊かで安心して暮らしていけるように僕は「税のあり方」を正しく理解したい。税が社会の役に立ち、人を助けるように僕も社会の一員として、将来は納税の義務をしっかりと果たせる大人になりたい。

令和5年度「税に関する中学生の標語」優秀作品

日高地方租税教育推進協議会は、税を考える週間（11月11日から17日）の一環として、「税に関する中学生の標語」の募集を行いました。

審査の結果、市内から右の皆さんが優秀作品に選ばれました。

必要な 税金払う それが義務

湯川中学校3年

たかはし あさひ
高橋 旭陽さん

税金は くらしを支える 立役者

河南中学校1年

なかむら はるか
中村 遥香さん

税金の 使い道には 関心を

湯川中学校3年

あしかわ ななせ
芦川菜々星さん